



## PRESS RELEASE

2010年6月9日  
Tokyo6to4 プロジェクト  
インターネットマルチフィード株式会社

### 国内初「Teredo」技術による IPv4/IPv6 変換ルータの接続実験開始について

インターネットマルチフィード株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木幸一、以下 MF）と Tokyo6to4 プロジェクト（神奈川県藤沢市）は、インターネット相互接続（IX）サービス「JPNAP 東京 I サービス」と IPv4/IPv6 変換ルータ（Teredo リレールータ）を接続いたします。この結果、自動トンネリング技術により、ブロードバンド環境における IPv6 インターネットの通信が大幅に効率化されます。

#### 1. 実験の背景

現在のインターネットで広く利用されている IPv4 アドレスは、2011 年頃にも在庫の枯渇が見込まれており、新規に IPv4 アドレスを取得することが困難になるといわれております。そして、IPv4 アドレスの不足などの問題を解決するために開発された次世代インターネットプロトコルである IPv6 は、商用サービスの普及の遅れなどから、広く普及するに至っていません。

NTT 東日本・西日本が提供する NGN 上での IPv6 接続サービスについては 2011 年 4 月からの提供が予定されていますが、現時点において個人向けの IPv6 接続サービスを提供している事業者は極めて少なく、IPv6 インターネット接続環境は未だ整備途上です。

このような状況下においても、IPv6 インターネットに接続できる技術として「IPv6 自動トンネリング」技術があります。この技術によりプロバイダの対応状況にかかわらず、IPv4 インターネットから IPv6 インターネットに接続できます。特に、IPv6 インターネット接続サービスが本格的に普及するまでの過渡期における活用が想定されています。この IPv6 自動トンネリング技術の一つに、NAT 環境にも対応した「Teredo」技術がありますが、これまで我が国では Teredo に対応したリレールータが運用されておらず、欧州などのリレールータを経由する必要がありました。このため、Teredo を利用した通信は日本国内間の通信であっても日本と欧州を往復するなど大幅な通信効率の低下が生じていました。

#### 2. 実験の内容

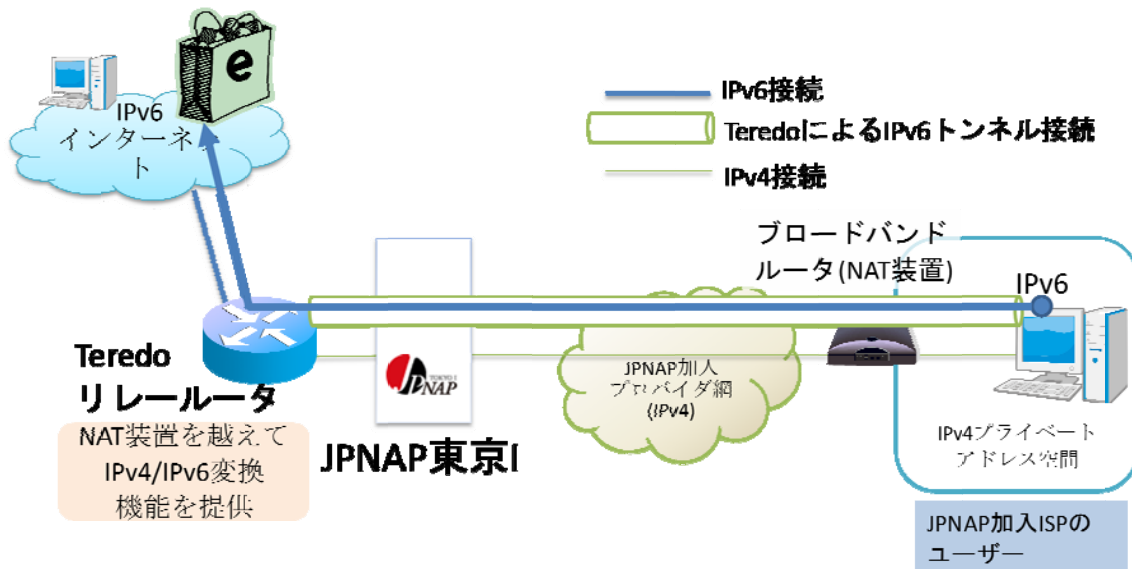
Tokyo6to4 プロジェクトと MF は、インターネット相互接続（IX）サービス「JPNAP 東京 I サービス」を利用しているプロバイダに対し、Teredo に対応したリレールータへのアクセスを提供します。これにより、インターネット相互接続（IX）サービス「JPNAP 東京 I サービス」上で Tokyo6to4 プロジェクトと相互接続を行ったプロバイダを利用しているエンドユーザは、Teredo を利用することで IPv6 による通信効率が大幅に向上すると見込まれます。

また、Tokyo6to4 プロジェクトは、世界的に見ても珍しい IPv6 自動トンネリング技術に特化したネットワークを運用しています。Teredo に対応したリレールータが日本国内のインターネット相互接続（IX）サービスに接続されるのは今回が初めてとなります。

### 3. 実験期間（予定）

2010年6月～2011年11月まで

【実験構成イメージ図】



#### 【用語解説】

・ Teredo:

Microsoft 社が開発した IPv6 自動トンネリング技術の一種です。同じ自動トンネリング技術である「6to4」とは異なり、NAT 配下にあるノードからも IPv6 ネットワークに接続できるのが特徴です。

Microsoft Windows XP, Vista, 7 などの OS が既に Teredo に対応しています。

・ リレールータ:

自動トンネル技術において IPv4 パケットと IPv6 パケットの相互変換を行うルータを指します。

#### 【本件に関するお問合せ先】

インターネットマルチフィード株式会社  
広報担当

Tel: 03-3282-1010

Fax: 03-3282-1020

E-mail: [info@mfeed.co.jp](mailto:info@mfeed.co.jp)

URL: <http://www.mfeed.co.jp/>

Tokyo6to4 プロジェクト

E-mail: [info@tokyo6to4.net](mailto:info@tokyo6to4.net)

URL: <http://www.tokyo6to4.net/>